

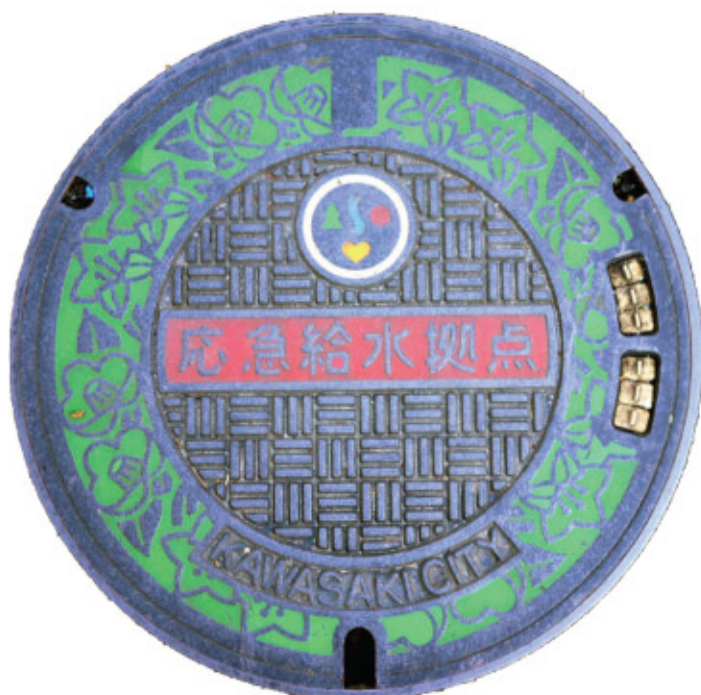


季刊

防災ニュース

2012.12
第18号

宮前区役所危機管理担当／宮前区まちづくり協議会防災部会



Q

**このマンホール
なんだか
知っていますか？**

正解は応急給水拠点のマンホール。
災害時に備えて飲み水の確保のために
設置されているものです
→詳しくは中面をご覧ください。

今号の防災ニュースの特集は 災害時の“水”の確保についてです。

“水”は生活していく上で、なくてはならないものです。それは、災害時においても同じです。

大地震が発生した場合、水道が断水する恐れがあります。

断水すると、ふだんのように容易に水を確保することは難しくなってしまいます。

阪神大震災のときには、飲み水だけでなく生活水の確保も大変困難であり、

なかには、川の水を運んで洗濯などをしていた方もいたようです。

“水”をどのように確保するか、もう一度確認しておきましょう。

訂正のお知らせ

2012年9月に発行いたしました、季刊防災ニュース第17号2ページ目上段3項目「〇メール」について

「パソコン：mailnws@k-mail.city.kawasaki.jp」と記載しておりますが、正しくは「パソコン：mailnews@k-mail.city.kawasaki.jp」でございます。

訂正してお詫び申し上げます。

災害時の応急給水：その1

地域の各所に設置されている「応急給水拠点」

地震などの災害により、水が出なくなった場合に、耐震性の水道管や地下式の貯水槽から給水を行います。

宮前区には18カ所(右ページ参照)の応急給水拠点があり、区役所危機管理担当で配布している「川崎市防災マップ」の宮前区版で場所を確認することができます。表紙の応急給水拠点のマンホールは15番の宮前平中学校南側のもので、日ごろから自宅の近所の応急給

水拠点のチェックをしておく、いざという時に役立ちます。区境の場合は隣の区の応急給水拠点もチェックしておくといいでしょう。

開設については、水道管から給水を行うタイプのものは、川崎市上下水道局の職員が操作を行います。地下式の貯水槽タイプのものは、周辺の自主防災組織で開設することが可能です。宮前区では野川第3公園の応急給水拠点1カ所だけが貯水槽タイプとなっています。

応急給水拠点

通常、応急給水拠点のマンホールと給水装置の格納庫が、セットで設置されています。

応急給水拠点のマンホール



災害対策用給水装置格納庫



縦型



ベンチ型

応急給水拠点開設訓練

水道局の職員による開設訓練



自主防災組織による開設訓練
(野川第3公園)



【宮前区応急給水拠点】

所在地	目標
1 野川3006	野川台西口バス停東
2 有馬6-6-1	市営・東急バス 中有馬バス停
3 宮崎3-5-15	宮崎台小学校北東側
4 土橋3-1-1	上下水道局鷺沼配水所南側
5 菅生6-33-13	ハイツブルーム前
6 菅生ヶ丘29-8	神原交差点北側
7 宮前平2-20-5	宮前区役所駐車場内
8 神木本町2-10-1	東高根森林公園内
9 野川801	市営・東急バス 野川郵便局前バス停
10 菅生4-6-10	向ヶ丘自動車学校入口
11 野川3142-1	野川中学校北側
12 野川3029	野川第3公園内
13 有馬7-7-1	有馬中学校南側
14 宮崎107	宮崎中学校東側
15 宮前平2-7	宮前平中学校南側
16 平3-15-1	平中学校北側
17 神木本町5-11-1	向丘中学校東側
18 犬蔵1-10-1	犬蔵中学校北側



多摩区	2 長尾6-34-7	長尾加圧ポンプ所前
	6 三田4-6-15	長沢浄水場北側
	13 折形6-26	民家園入口前
高津区	9 梶ヶ谷2-10	梶ヶ谷第1公園内

平成24年4月1日現在。詳細は、以下のHPでご確認ください。

<http://www.city.kawasaki.jp/800/cmsfiles/contents/0000035/35839/disaster/>

災害時の応急給水：その2

高台や給水拠点の使用が難しい場所は「給水タンク車」で対応

応急給水拠点の開設前や、開設後も自然流下方式で水を送ることができない高台地区や、応急給水拠点まで水を取りに来ることが難しい方などについては、運搬給水という方法で対応することとなっています。

運搬給水は、水道施設で給水タンク車や給水タンク容器などに水を入れ、断水地域まで運

搬します。なお、給水タンクについては、トラックなどの荷台に積載して運搬給水を行います。

宮前区を所管区域としている川崎市上下水道局第2配水事務所では、2トンの給水タンク車を2台、2トンの給水タンクを5基、1トンの給水タンクを26基、保有しています。

給水タンク車



2トンの給水タンク車



上下水道局防災倉庫の1トタンク

災害用井戸が選定されています。 ルールを守って、譲り合って使いましょう。

川崎市では、災害時に地域住民の皆様が利用できる井戸の選定をすすめており、所有者の方のご理解とご協力により、災害時の飲料水および生活用水として利用できる井戸が選定されています。なお、災害用井戸については、保健福祉センターが定期的に水質検査を行っています。

災害用井戸水の利用上の注意事項

- 清潔な容器(ポリタンク等)を持参し、給水を受けてください。
- 利用に際しては、所有者の指示に従い、譲り合って使いましょう。

【宮前区災害用井戸一覧】(平成24年10月15日現在)

飲料水	馬網1007			
生活用水	有馬3-14-4	有馬5-5-23	有馬6-2-20	有馬8-3-8
	有馬9-3-18	犬蔵1-11-21	犬蔵2-13-1	小台2-4-3
	小台2-9-9	小台2-20-9	潮見台16-3	神木本町3-11-12
	神木本町4-2-10	神木本町5-9-8	菅生2-17-12	菅生5-2-50
	菅生6-36-39	菅生ヶ丘29-6	平1-10-11	平2-7-16
	平5-9-30	土橋6-8-6	野川1463-1	野川263
	平4-21-11	野川753	野川946	野川2696
	初山1-16-9	初山2-6-46	東有馬2-10-15	東有馬3-4-12
	東有馬4-12-3	東有馬4-15-19	東有馬5-23-10	馬網860
	馬網1173	馬網1378	馬網1402	馬網1516
	馬網1719	馬網1750	馬網1821-1	水沢3-9-3
	宮崎124	宮崎663	宮崎3-10-38	宮前平3-3-20

各家庭での“水”の備蓄が大切なことは言うまでもありません。

これまで、災害時に水を入手する方法を紹介しましたが、災害の規模や被災状況によっては、このような給水手段がすぐに使用できるとは限りません。やはり、飲み水を確保する一番確実な方法は、各家庭で備蓄しておくことです。

一般的に、1人1日3リットルの水が必要と言われています。すぐに「公助」としての給水手段が得られるわけではありませんので、最低でも3日分、できればそれ以上の備蓄をしておきましょう。

また、飲み水以外にも、生活用水が必要となります。生活用水として、日頃からお風呂に水を貯めておくのが良いでしょう。



**4人家族の場合
1日12リットルが目安**

※写真は2リットルボトル×6本

「季刊 防災ニュース」に関するお問合せは、宮前区役所危機管理担当(856-3114)まで
バックナンバーは、宮前区役所ホームページ⇒安全安心のまちづくり⇒「防災ニュースのページ」でご覧いただけます。